



8月に大分県生協連が主催した「親子で考える平和のつどい」に参加して、福岡県筑前町の『大刀洗平和記念館』を訪ねました。かつてこの地域は、旧陸軍の西日本の拠点となる航空部隊の大刀洗飛行場があったので、1987年に平和を願って個人が建設していました。その後、2009年に筑前町立の記念館として新設され、平和の発信基地となっています。

今回の「平和のつどい」には、たくさんの親子連れが参加していました。アニメ「風立ちぬ」で話題となっている零戦

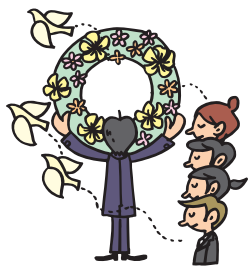
# 真実に学び、非戦の誓い

# お元気ですか

発行者  
大分県勤労者医療生活協同組合  
大分市大字宮崎953-1  
電話 097-568-2299

の展示には、興味津々ではしゃいでいた子どもたちも、米軍の爆撃を再現した映画には声をなくし、当時の写真や展示物の前では真剣な表情で親子が会話していました。炎天下でのボランテアガイドさんの話にも静かに聞き入っていました。

今、過去の戦争に対して、とくにアジア諸国の皆さんへ歴代総理が述べてきたお詫びや反省の言葉に対する見直し、憲法の改悪や憲法解釈の見直しなどの動きが盛んになっていきますが、わたしたちは、戦争の真実を語り継ぐことで、平和の尊さを学び、再び戦争への道を進まない誓いを強くしなければならぬと思います。(本部・中村)



日本の夏は、平和と不戦の誓いを新たにする季節でもある。今年はその68回目の夏。8月6日に広島、9日に長崎で原爆の日の行事が行われた。今年市長式辞に注目が集まった。とくに長崎市長は、政府が核不拡散条約(NPT)再検討会議で核兵器の非人道性を訴える共同声明に署名しなかったことを『世界の期待を裏切り、核兵器の使用を状況によつては認めざる姿勢を示した』と強く指摘。広島市長もNPT未加盟のインドへの原発技術輸出のための原子力協定交渉再開を批判した。そして15日、戦没者追悼式での首相式辞が注目されたが、アジア諸国への加害に触れず、不戦の誓いも抜け落ちていた。まるで過去に戦争などなかったかのような言葉に共鳴はなかった。(河)

# 奄美で学んだ平和への歴史

皆さんは知っていますか？今年奄美大島が日本に復帰して60年になるというのを。私はこの夏、医療福祉生協連九州沖縄ブロックの組合員交流研修会に参加して初めて知りました。

「奄美における日本復帰運動を語る」という講演で、1946年の行政分離宣言から7年間、1

953年に奄美群島が日本への復帰を手にするまでの現地の方々の長く苦しい闘いの一端を知りました。

印象的だったのは、「この闘いに主役は誰もいない。大人も子供も男も女も団結と連帯で復帰を勝ち取った」という言葉でした。当時の様子を聴きながら、大変な闘いが



あつたこと理解しました。あらためて平和の中で暮らすありがたさとともに歴史を学ぶことが大切だという思いを強くしました。(佐伯・平山)

# 別府で認知症シンポ

7月14-15日に別府市で開催された労働者住民医療機関連絡会議(労住医連)第31回総会を記念して、認知症をテーマにした講演とシンポジウムが行われました。

シンポジウムでは認知症に携わる患者家族、行政、福祉関係者、医師が

それぞれの立場から話しをしました。この中で、則行副院長は、認知症の方が在宅生活を安全に送るための3つの要素、①患者さん本人の生活能力、②家族の見守りや介助力、③社会的支援とサービスを提示して、これらをバランすよくしていくことで在宅生活が保たれると述べられました。

話しの後半では、永六輔氏の著書から「若者叱

るな来た道だもの。年寄り笑うな行く道だもの」を紹介し、老いは誰にでもやってくるもの、認知症は誰にでも起こる可能性があり、それを恐れず抵抗せず、正しい理解でみんな支え合う社会を築こうと話されました。

講演やシンポジウムを聴講して、認知症に対する社会の正しい理解が大切だとあらためて思いました。(リハ室・後藤)

# 健診結果を生かそう

7月に「県職退職者ろうきん友の会」から依頼を受けて、「健診結果の見方と活かし方」というテーマで、お話しをさせていただきました。

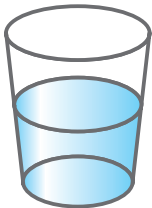
健診は毎年受けているものの、結果を注意深く見ていただいているのか、毎年なんとなく健診結果を受け取っていないかと

いう危惧からこのテーマを選びました。

我が国の死因の4分の3が生活習慣病に起因します。中でも、肥満・高血圧・脂質異常症・糖尿病は死の四重奏と呼ばれるほど負のスパイラルを形成してしまいます。これらの具体的な対応策をお話しし、健康で質の高い生活を送れるように、今の生活の見直しもお願いしました。(外来・原田)

# 先入観でみていませんか？

大分協和病院 臨床心理士 吉里 恒昭



コップに半分ほど入った水を見て、皆さんは『もう半分しかない』と思いますか？『まだ半分残っている』と考えますか？同じものごとでも人によって見方は様々です。日常会話でも『彼は頑固だ』『あなたは気が短い』と特徴を評価することがあります。『頑固』『気が短い』もあくまでひとつの見方です。『彼は信念がある』『あなたは意思決定が早い』という見方もあるかも知れません。もしかしたら『彼』以上に頑固な人が現れたら『彼は頑固だ』と表現できなくなるかも知れません。あるいは『頑固』というメガネ(見方)で見ると、ちょっとしたことで『頑固』と見えているのかも知れません。先入観というものです。

このように人の特徴を評価する見方は様々だと言えます。自分の物の見方に気付いたり、見方や表現を変えてみることで評価の幅は広がります。

では、次の見方をどのように言い換えますか？『あの人はなれなれしい』『彼女はルーズだ』『この子は生意気だ』



# お薬と研究不正について

大分協和病院 院長 山本 真

わが国では、国際的に重要視されるような大規模な研究は出ないと言われていました。同じ分野に多くの大学がひしめき、学閥は対立することはあっても共同研究は誰が

ヘッドを取るかでまともでないためではないかと言われたりしていました。そこにディオバンという最新の新たな薬理作用をもつ薬について、かなりの規模の研究がわが国で行われたのです。

ディオバンは、血圧を下げる作用以外に、脳や心臓などの内臓を保護する作用が認められたと、それは大々的に宣伝されたものです。しかしそれらは全くの虚偽に過ぎませんでした。メーカーの人間が研究からみ、試験結果の差し替えまで行われたという前代未聞の

不正が明らかになり、地に落ちたのはメーカーの信用だけではありません。わが国の医学研究そのものの信用性がゼロになってしまったのです。

これまでも研究の世界では大発見に詐欺はつきものでした。ES細胞研究の先端を走っていた韓国の研究者は、単なる詐欺師でしたが、これによりかの国の研究は全く信用されなくなってしまうました。

私も痰の自動吸引の研究では、延べ10年間、国からの研究費支援を受けました。国の研究費をもらうとそれは大変です。付与された全額を期間内に使い切らねばならず、使い道までこまごまと詮索されるのです。切手を買ったら、どこに郵送した切手かとまで問われま

した。研究に必要な医療機器も50万円以上は原則賃借にとまわれず。50万円以下の医療機器など消耗品以外にまずありません。それでも資金をいただけることは、研究を進める上でありがたかったことは言うまでもありません。

それに比べると今回の製薬企業丸抱えの研究って一体何なのでしょう。億単位の金が担当教室に内容も詮索されずに「寄付」される。さらに論文執筆料なんて名目で何億ものリベートが払われる。まったくズブズブの状態です。私も研究成果は論文にしなければならぬため、論文は書きまくりましたが、論文執筆料なんて一銭も頂いておりません。

今回、企業側の人間が研究にも直接絡んでいたことは論外ですが、そうでなくてもこのような状態で正しい研究が進めら

れるとは思えません。大学のほうも真剣な学術研究というより、おいしいアルバイト感覚の研究ではなかったかと思えるのです。

さて、そのようなことで有名になったディオバンというお薬については、院内で議論し、扱いを縮小し、使っていた患者さんには同種のお薬を一人

## 佐伯中の島通信

佐伯診療所前の駐車スペースが広がりました。最近舗装を直すなどきれいに整備していましたが新たに6台の駐車が可能になりました。駐車場の一角には憩いの場も設けられました。

患者さんが路上で空くの待つこともありませんが、これからは他の交通の迷惑にならないようにと思っております。また、近くには、第2、第3駐車場もありますので合わ

ひとり丁寧の説明をしながら変更させて頂くという事にしました。どうぞご理解ください。ご質問がありがたい方は、どうぞ遠慮なく担当医にご質問ください。



せて利用願います。駐車場も増えたので、是非この機会に特定健診などいかがでしょうか。診療所では特定健診推進期間中です。(佐伯・石田)



# 秋バテにご用心

今年の夏は、「暑いから」「食欲がないから」という理由で食事を抜いたり、冷たい簡単なもので済ませる反面、ビアガーデンでは暴飲暴食なんてことはありませんでしたか。夏の間に体はかなりのダメージを受けているハズです。そのまま過ぎすと秋バテというこ

とになりかねません。消耗した体力を取り戻し、元気に秋を過ごすために旬の食べ物を摂ることをお奨めします。食材の旬というのは、最も多く収穫でき、価格的にも手頃になって、最も美味しい時期のこと。栄養価も最も高くなります。

秋に美味しくなる食材を知っていますか？ サツマイモ、里芋などの芋類。しいたけ、舞茸などのキノコ類。ゴボウ、れんこ

医療機関では、かかりつけであっても月に一度、保険証の提示をお願いしています。本人確認やカルテとの照合のためですが、健康保険の変更や有効期限の確認も行っています。

保険証を変更したときに、注意頂きたいのは、「資格取得年月日」です。医療機関は医療費の自己負担分以外を保険者（自治体や健康保険組合、共

わることになります。保険の資格は他の市町村への転入・転出、就職や退職、転職等によって原則

**保険証を  
確認させて  
頂きます**

んなどの根菜類。イチジク、柿、梨などの果物。サンマ、サケなどの魚類。考えただけでも食欲が出てきます。これらをバランスよく摂って体力の回復に繋げましょう。食事の他にも運動や睡眠などにも気をつけて元気に秋を過ごしましょう。



的に変更されます。

新しい保険証が届かないうちに受診する場合は、「健康保険被保険者資格証明書」の発行を受けなければ、保険証の代わりになります。（本部・武石）



**読者の  
お便り**

読者の感想が寄せられています。その一部をご紹介します。

- ひとつの見方のコーナーを読んで、身に覚えがあり、気をつけようと思いました。
- 年齢を重ねるたびにひとつの見方しかできなくなっている自分を反省です。
- お元気ですかは、どの記事も生活の中で参考になっています。
- 小さな子供がいるので、夏と子供の感染症はとても助かりました。
- ある日の新聞広告からの記事は、考えさせられました。マスコミ報道についても同感です。
- 上野千鶴子さんの講演を聴きたかったです。本（おひとりさまの老後）を買いました。
- お楽しみクイズは、難しかったです。カップ祭りは見に行ったことがあります。

**Q1 郷土の奇祭クイズ**  
次のヒントから、郷土の奇祭？を答えて下さい。

A = ①宇目町 ②山神社 ③荒神様  
B = ①国見町 ②岩倉八幡社 ③火の粉

**Q2 郷土の名水クイズ**  
日本名水百選に入っている名水を答えて下さい。

A = ①三重町 ②傾山系 ③ホテル祭り  
B = ①庄内町 ②黒岳 ③名水の滝

〔応募の仕方〕  
ハガキに答え・住所・氏名と「お元気ですか」の感想などをお寄せ下さい。抽選で10名に図書カードを進呈します。  
〔送り先〕  
〒870-1133 大分市宮崎953-1  
「勤労者医療生協」宛  
〔締切り〕10月17日

7月号の答え  
Q1 ①カップ祭り  
②賀来の市  
Q2 ①塚原温泉  
②寒の地獄温泉

7月号当選者  
秦 良武(大分市) 国広 月子(大分市)  
長野 美紀(大分市) 佐藤真智子(大分市)  
中村 昭秀(大分市) 下川 紀代(佐伯市)  
下村 真弓(佐伯市) 橋迫 美和(佐伯市)  
川津 智子(臼田市) 田口 直喜(宇佐市)

**お・知・ら・せ**

**秋の生協  
強化月間スタート**  
医療生協はみなさんの出資で成り立っています！この機会に生協への加入・増資にご協力ください。（1口1,000円〜）

**今年もやります！  
健康クラブ  
「パスハイク」**  
「田川・飯塚～石炭遺産の旅」  
と き：10月29日(火)  
行き先：福岡方面  
詳細は、097-568-2299まで

**予防接種で  
早めの対策を!!**  
10月1日(火)より、インフルエンザワクチン接種（組合員価格あり）を開始します。  
詳しくは各院所にお問合せ下さい。